

# 第115回 フランス革命③

## 1 革命戦争の開始

- 1792年3月、立法議会で（ ）が成立した。  
→ジロンド派は、革命に反対する勢力を一掃するために（ ）  
に対して宣戦布告し、革命戦争が始まった。

- しかし貴族出身の軍人にやる気はなく、フランス軍は連戦連敗となった。  
→このフランスの危機に対して、全国から（ ）が集まった。  
→1792年8月、国王が外国と通じることを恐れたパリの民衆と義勇兵は、国王の  
住む（ ）を襲撃し（ ）した。  
※これを（ ）という。

「ラ=マルセイエーズ  
いざ 祖国の子どもらよ  
栄光の日はやってきた  
われらに対して暴君の  
血に染まった旗は掲げられた  
暴虐な兵士たちの叫び声が  
広野にとどろくのを聞け  
彼らは迫っているのだ  
われらの子や妻を殺そうと  
武器をとれ市民よ 隊を組め  
進め 進め われらの烟を  
けがれた血でみたままで

### <フランス国歌>

- マルセイユから来た義勇兵が歌っていた歌が、全国から集  
まった義勇兵の間にも広がった。  
→現在その歌は（ ）と呼ばれ、フラ  
ンスの国歌となっている。

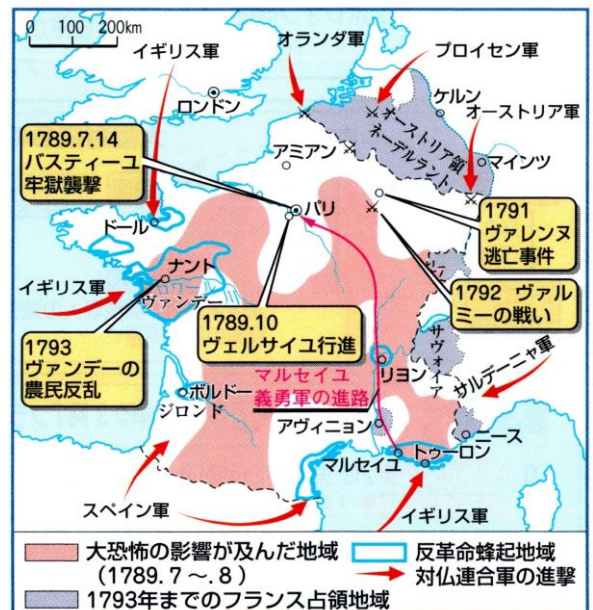
- そして1792年9月、義勇兵を中心とするフランス軍は、（ ）  
でオーストリアとプロイセンを破り、初勝利をあげた。



ゲーテ  
ドイツを代表する大  
作家である。

### <文豪の言葉>

- 『若きウェルテルの悩み』や『ファウスト』などで知られる（ ）は、  
プロイセン軍の兵士としてヴァルミーの戦いに参加していた。  
→戦闘の後に「この日、この場所から世界史の新しい時代が始まる」と書  
き記した。

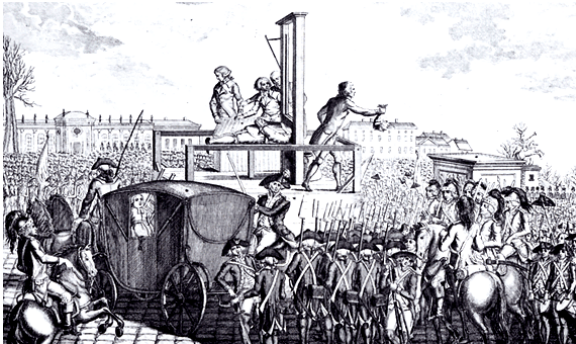


## 2 国民公会の成立

- ・ ( ) によって王権が停止されたため、立憲君主政を規定する1791年憲法は無意味となり、立法議会は解散した。  
→初の男性普通選挙によって、1792年9月に国民公会が成立した。

☆ ( ) (1792年9月～1795年10月)

- ・ 国民公会は、王政の廃止と共和政の樹立を宣言した。  
※これ以降の政治体制を ( ) といい第一帝政開始まで続いた。
- ・ 1793年1月、ヴァレンヌ逃亡事件などで国民の信頼を失っていた ( ) は、裁判にかけられ処刑された。  
→1793年2月、フランスのベルギー進出と革命が外国へ広がることを恐れたイギリス首相 ( ) の提唱で、 ( ) が結成された。



ルイ16世  
ついに処刑されてしまいました…。国王らしく、堂々とした最期であったと伝えられている。



サン=ジユスト  
ジャコバン派の最年少議員。非常に端正な顔立ちであり、冷徹な性格であった。



イギリス首相ピット  
病弱だったが、頭脳は天才的であり、若干24歳で首相となった。父も首相経験者。

## 3 ジャコバン派の独裁

- ・ 1793年6月、下層市民が支持する ( ) がジロンド派を追放して国民公会の主導権を握り、様々な急進的な改革を行った。

- ・ ジャコバン派は、 ( )、亡命貴族や教会財産の没収、 ( ) の実施、 ( ) の制定、 ( ) による価格統制、黒人奴隷解放宣言、理性の崇拝の強制など、次々に改革を行った。  
→徴兵制への反発から、フランス西部の ( ) で農民反乱が起こった。

- ・ さらに1793年6月、 ( ) (ジャコバン憲法) の施行が決定した。  
→男性普通選挙を規定するなど非常に民主的な内容だったが、混乱のため結局実施されることはなかった。



ダヴィッド作「マラーの死」

ジャコバン派の大物政治家マラーは、1793年7月に、女性シャルロット=コルデーに暗殺された。皮膚病の治療のため、風呂に入っていたところを、刺されたのである。



シャルロット=コルデー

「暗殺の天使」と呼ばれ、その美しさから、処刑台に向かうコルデーにひとめぼれする男性が続出したという。ジロンド派を支持していた。

革命暦(共和暦)	西暦
ヴァンデミエール(葡萄月)	9～10月
ブリュメール(霧月)	10～11月
フリメール(霜月)	11～12月
ニヴォーズ(雪月)	12～1月
フリュヴィオーズ(雨月)	1～2月
ヴァントーズ(風月)	2～3月
ジェルミナル(芽月)	3～4月
フロレアル(花月)	4～5月
プレリアル(草月)	5～6月
メシドール(収穫月)	6～7月
テルミドール(熱月)	7～8月
フリュクティドール(実月)	8～9月